金星探査機あかつきと地上望遠鏡による金星雷同時観測

第11回光赤外天文学大学間連携
ワークショップ
北海道大学　大野

- 金星雷の観測は大気ダイナミクス理解に有用
- 探査機「あかつき」搭載 LAC (放電発光 777.4 nm) と地上望遠鏡同時観測
  - 観測領域の拡大，流星など他の発光との区別に有効
  - 西はりま天文台 2.0 m なゆた (2020/06/30,07/11) (※同日観測)
  - 埼玉大学 0.55 m SaCRA (2020/07/10) (※同日観測)

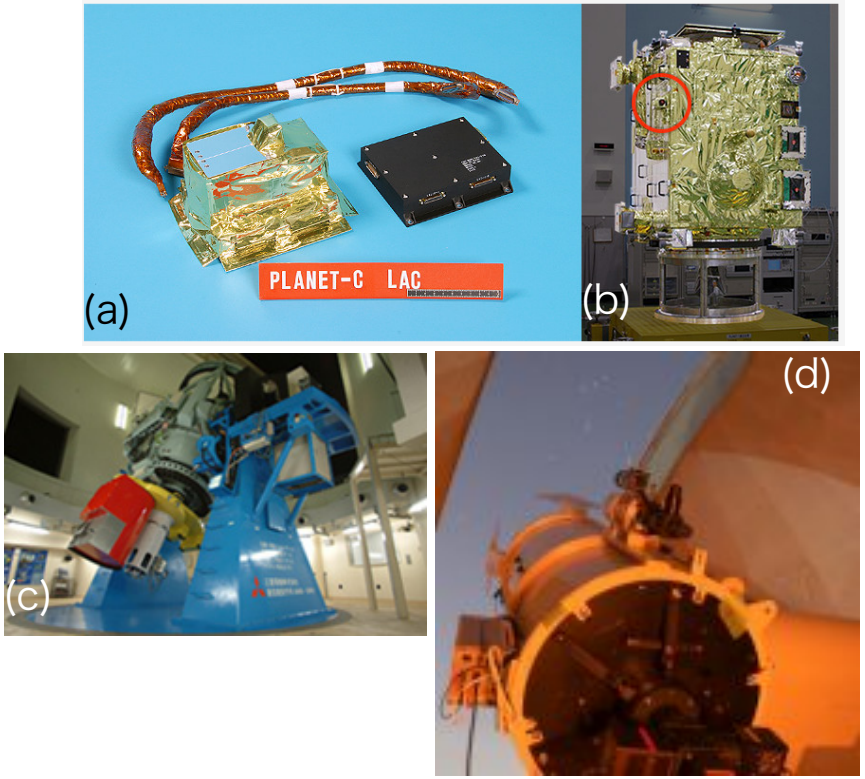

図. 観測装置 (a)LAC, (b)探査機あかつき,
(c)2.0 m なゆた, (d)0.55 m SacRA

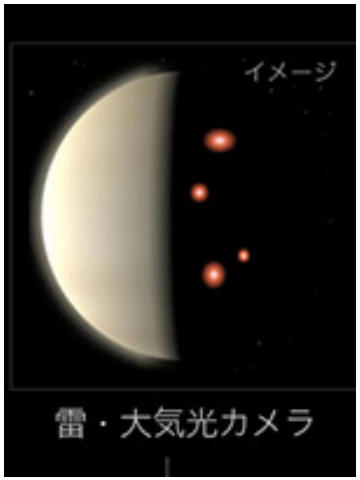

図. LAC 観測対象の金星雷イメージ

金星探査機あかつきと地上望遠鏡による金星雷同時観測

第11回光赤外天文学大学間連携
ワークショップ
北海道大学　大野

- 規格化した昼面 or Sky のピクセル値の時間プロットで夜面プロットを補正
- 解析中．単独のピクセルを利用

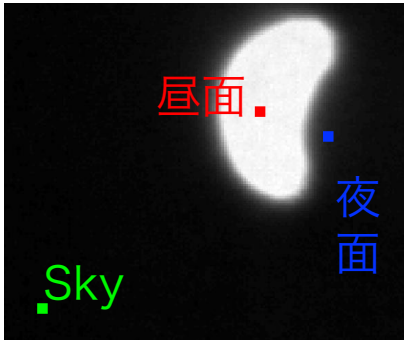

図. 金星CCD画像(SaCRA)と時間プロット取得ピクセル位置

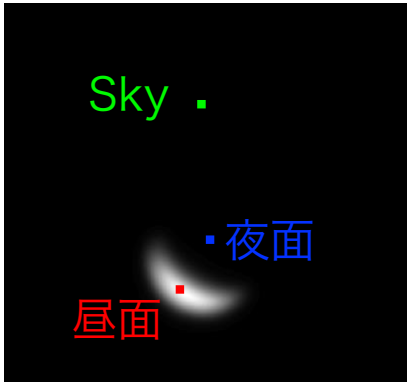

図. 金星CCD画像(なゆた）と時間プロット取得ピクセル位置

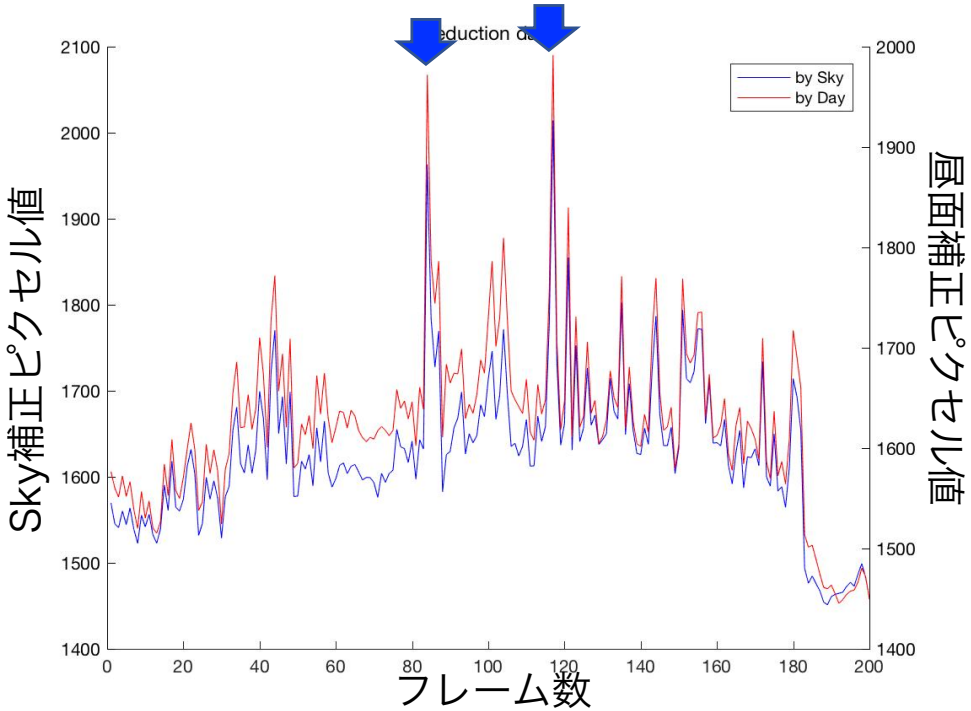

図. 補正済みライトカーブ(SaCRA)．Skyによる補正(青)，昼面による補正(赤).

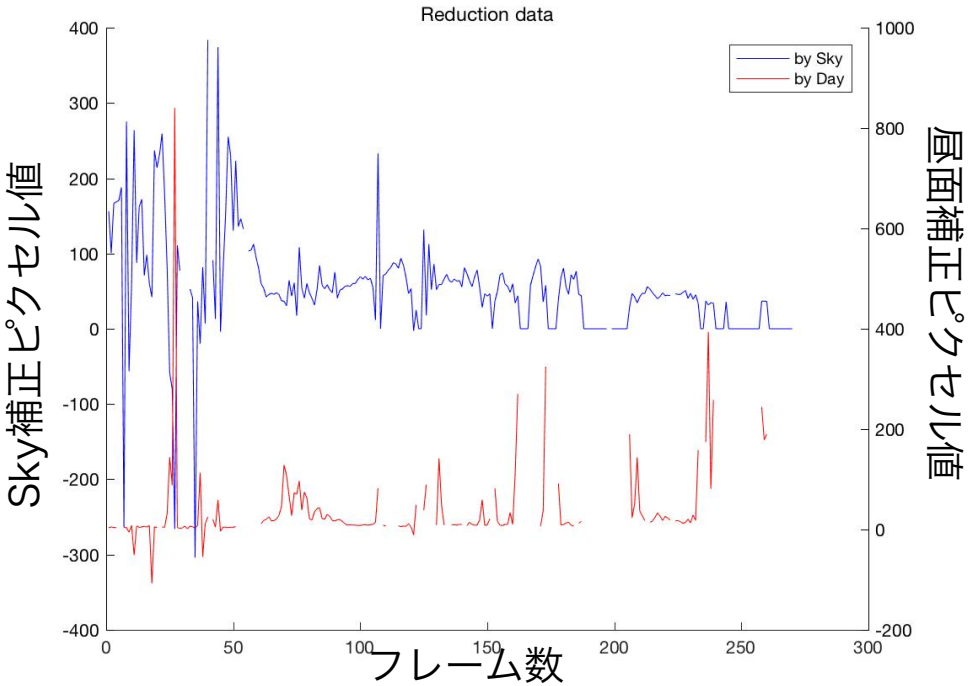

図. 補正済みライトカーブ(なゆた)．Skyによる補正(青)，昼面による補正(赤).